

比較経済体制学会第45回全国大会プログラム

2005年6月4日(土)～6月5日(日) 桜美林大学

6月4日(土)

9:50-12:00 自由論題

第1セッション

司 会 源河朝典(岡山大学)

報 告 菅沼桂子(一橋大学・院)「移行諸国への外国直接投資－ロシアを中心に」

報 告 金野雄五(みずほ総合研究所)「ロシアの石油・ガス輸出と対外経済関係の自由化」

報 告 杉浦史和(一橋大学)「移行経済諸国における企業金融メカニズム－ロシアを中心に」

討論者 大津定美(大阪産業大学)

第2セッション

司 会 吉井昌彦(神戸大学)

報 告 佐藤嘉寿子(一橋大学・院)「ハンガリーの年金改革制度－賦課型制度を中心に」

報 告 蓮見 雄(立正大学)「ワイダー・ヨーロッパの中のロシア」

報 告 今井正幸(日本福祉大学)「『拡大 EU』－新規加盟国のパフォーマンスとユーロの浸透」

討論者 羽場久美子(法政大学)

第3セッション

司 会 岡田裕之(法政大学)

報 告 ジャミアン・ガンバト(北海道大学・学振研究員)「モンゴルにおける税制度と GDP 計算方法」

報 告 ド・マン・ホン(早稲田大学・外国人研究員)「ベトナムの市場経済への移行と企業発展」

報 告 由川 稔(大東文化大学)「モンゴル国の体制転換要因と移行深化要因」

報 告 村岡伸秋(西南学院大学)「分税制実施(1994年)以後の中国地方政府の財政問題」

討論者 栗林純夫(東京国際大学)

ポスター・セッション

星野 真(神戸大学・院)「中国少数民族地域における県間格差」

安木新一郎(大阪市立大学・院)「ロシアの2004年『安定化基金』について」

三嶋恒平(東北大学・院)「産業発展の段階と方策－ベトナムオートバイ産業の事例」

14:10-17:55 共通論題「市場経済の諸類型－発展途上経済と移行経済」

第1セッション

司 会 加藤志津子(明治大学)

報 告 木村雅則(松本歯科大学)「ネップ期市場経済の特質とその解体過程－企業統治と労働関係を中心に」

報 告 野部公一(専修大学)「ロシアの市場経済移行における農業の機能－土地制度、とりわけ個人副業経営を中心に」

報 告 塩原俊彦(高知大学)「ロシア－資本制経済のかたち」

討論者 栖原 学（日本大学）

第2セッション

司 会 家本博一（南山大学）

報 告 吉野悦雄（北海道大学）「ベラルーシで進行する隠蔽された市場経済化」

報 告 清水 学（一橋大学）「エジプト・アラブ社会主義と中央アジア」

討論者 岩崎一郎（一橋大学）

第3セッション

司 会 箱木眞澄（広島経済大学）

報 告 上垣 彰（西南学院大学）「東欧後進国家と EU—ルールマニアを例として」

6月5日（日）

9:30—17:35 共通論題（継続）

第3セッション（継続）

報 告 田中 宏（立命館大学）「EU 加盟と移行経済の類型化—コンフィギュレーション理論を中軸に」

討論者 佐藤経明（横浜市立大学名誉教授）

第4セッション

司 会 座間紘一（桜美林大学）

報 告 丸川知雄（東京大学）「中国はキャッチアップしているのか？—技術と制度の収斂と分化」

報 告 加藤弘之（神戸大学）「中国の市場経済移行—郷鎮企業をめぐる問題」

討論者 上原一慶（京都大学）

第5セッション

司 会 田畑理一（大阪市立大学）

報 告 原洋之介（東京大学）「経済のボーダーレス化のなかでの市場経済への移行—大陸部東南アジアの内陸小国ラオスの事例から」

報 告 末廣 昭（東京大学）「タクシン政権の『デュアル・トラック政策』—Thaksinopolitics と Thaksinomics」

報 告 西島章次（神戸大学）「ブラジルの市場自由化—ポピュリズムからネオリベリズムへ」

討論者 西村可明（一橋大学）・中兼和津次（青山学院大学）

比較経済体制学会第4回秋期大会プログラム

2005年10月29日（土） 明治大学

10:30—12:00 全体会

司 会 溝端佐登史（京都大学）

報 告 青木國彦（東北大学）「東独脱出をめぐる（独裁と難民）ーヘルシンキ宣言とベルリンの壁開放」

報 告 L. Ya. Kosals（京都大学経済研究所，ロシア・GU-VSE）“Market Adaptation of Enterprises in Russia: Case of Defense Sector”

13:00ー17:00 自由論題

分科会A

司 会 阿部 望（明治学院大学）・長谷部勇一（横浜国立大学）

報 告 三田昌史（中央大学・院）「中国的経済体制移行ー効率的資源配分と社会主義理念」

報 告 松澤祐介（桜美林大学）「市場経済移行期の中央銀行ー中欧3カ国の中央銀行の独立性を巡って」

報 告 黒坂 真（大阪経済大学）「独裁体制と資本蓄積ーブハーリン・劉少奇理論のモデル分析」

報 告 中村 靖（横浜国立大学）「一般均衡パラダイムと現実経済」

報 告 大田英明（愛媛大学）「移行経済諸国における IMF 経済プログラムの問題と課題」

討論者 家本博一（名古屋学院大学）・杉浦史和（一橋大学）

分科会B

司 会 酒井正三郎（中央大学）・栖原 学（日本大学）

報 告 一ノ渡忠之（明治大学・院）「ロシアの対中国石油輸出と政治的背景」

報 告 大里貴志（東京国際大学・院）「中国・江蘇省農村における資金需要と資金供給構造」

報 告 三嶋恒平（東北大学・院）「直接投資主導型産業発展の軌跡と展望ーベトナム・タイ・インドネシアにおけるオートバイ産業の比較分析」

報 告 日置史郎（東北大学）“Identifying the Structural Changes of China’s Spatial Production Linkages Using a Qualitative Input-Output Analysis”

報 告 望月喜市（北海道大学名誉教授）「東アジアに展開するエネルギー問題ーロ・中・日3カ国を中心として」

討論者 小山洋司（新潟大学）・田中 宏（立命館大学）

ポスター・セッション

報 告 李 ガン（滋賀大学・院）「東アジア株式市場における為替リスクの比較分析」

報 告 望月喜市（北海道大学名誉教授）「北方4島問題によせて」

比較経済体制学会第46回全国大会プログラム

2006年6月10日（土）～6月11日（日） 一橋大学

6月10日（土）

10:10ー11:15 キーノートスピーチ

司 会 栖原 学（日本大学）

キーノートスピーカー紹介 溝端佐登史（京都大学）

Philip Hanson (Chatham House, The Royal Institute of International Affairs) “On the Future Tasks of Comparative Economic Analyses”

14:30－16:30 共通論題 理論編

司 会 上垣 彰（西南学院大学）

報 告 中兼和津次（青山学院大学）「比較経済体制論の到達点と課題－民営化問題を中心に」

報 告 岡崎哲二（東京大学）「歴史制度分析のフロンティア」

報 告 山田鋭夫（九州産業大学）「資本主義経済における多様性」

17:30－18:00 全体討論

討論者 西村可明（一橋大学）・酒井正三郎（中央大学）・岩田昌征（東京国際大学）

6月11日（日）

10:00－12:30 共通論題・実証編

司 会 田畑伸一郎（北海道大学）

報 告 佐藤 宏（一橋大学）「コミュニティレベルの要因と農村世帯所得－中国農村の地域格差への一視点」

報 告 アンドレイ・ベロフ（福井県立大学）“Territorial Differences in Russia in 1999-2003”

討論者 日置史郎（東北大学）・堀江典生（富山大学）

13:30－15:30 自由論題（前半）

パネルA「ロシア企業の国際化・多国籍企業化」

司 会 田中 宏（立命館大学）

報 告 今井雅和（高崎経済大学）「ロシア企業の多国籍化を概観する」

討論者 井手啓二（長崎大学）

報 告 小森吾一（日本エネルギー経済研究所）「ロシア石油最大手ルクオイルの多国籍企業化」

討論者 音羽 周（ロシア東欧貿易会）

報 告 富山栄子（事業創造大学院）「ロシア企業の国際化とグローバルマーケティング戦略－ルークオイルの事例研究」

討論者 望月喜市（北海道大学名誉教授）

パネルB「旧ソ連経済の諸相」

司 会 溝端佐登史（京都大学）

報 告 志田仁完（一橋大学・院）「ソ連の強制貯蓄の再検討－市場の地域的特徴の観点から」

討論者 道上真有（学振PD・國學院大學）

報 告 Viktoriya Kan（一橋大学・院）「移行経済における中小企業－ロシア、カザフスタン、ウズベキスタンの比較」

討論者 栗田 聡

報 告 吉野悦雄（北海道大学）・今井博久（国立保健医療科学院）・A. Vaiserman（ウクライナ国立加齢医学研究所）・V. Yakushik（国立キエフ・モヒラ大学）「循環器疾患死亡率からみたウクライナの社会集団の分解－予備的考察」

討論者 保坂哲郎（高知大学）

パネルC「グローバリゼーションと移行経済」

司 会 長谷部勇一（横浜国立大学）

報 告 岡田裕之（法政大学名誉教授）「グローバリゼーションと体制移行」

討論者 池本修一（日本大学）

報 告 鈴木 拓（一橋大学・院）・菅沼桂子（一橋大学・院）「移行諸国への外国直接投資と国家の役割」

討論者 吉井昌彦（神戸大学）

報 告 清水 学（一橋大学）「独立後中央アジアと南西アジアとの経済関係」

討論者 片山博文（桜美林大学）

15:45－17:55 自由論題・後半

パネルD「東アジアの移行経済」

司 会 上原一慶（京都大学）

報 告 尹 文植（滋賀大学・院）「中国の金融システム安定化と国有商業銀行改革」

討論者 白石麻保（姫路獨協大学）

報 告 尹 晟元（東京国際大学・院）「北朝鮮の食糧配給制における、いわゆる「正常化」に関する考察」

討論者 黒坂 真（大阪経済大学）

報 告 劉 彤（東京国際大学・院）「2000年人口センサスから見た中国の地域間人口移動の特徴とその効果」

討論者 巖 善平（桃山学院大学）

パネルE「ロシア経済の現況」

司 会 石川 健（島根大学）

報 告 安達祐子（上智大学）“The Development of Russian Firms in the Energy and Metals Sectors: A Resource-Based View”

討論者 藤原克美（大阪外国語大学）

報 告 武田友加（東京大学）「移行経済下ロシアの貧困緩和と貧困化の決定要因」

討論者 中村 靖（横浜国立大学）

報 告 長谷直哉（慶應大学・院）「ロシア連邦制における有資源地域の自律性－政府間財政関係の分析を中心に」

討論者 横川和穂（学振PD・京都大学）

比較経済体制大会第5回秋期大会プログラム

2006年10月28日（土） 神戸大学

10:30－12:30 第1分科会

司 会 田中 宏（立命館大学）

報 告 ミチエスワフ・ソハ（ワルシャワ大学）“The Effects of Poland’s Integration with the EU: Financial

Transfers and Eastern Border Regions Economic Development”

討論者 田口雅弘（岡山大学）

報告 マルコ・レヒティ（トゥルク大学）“Inevitable End or New Beginning: Assessing Alternative Perspectives to the Northern Dimension and Its Future Prospects”

討論者 志摩園子（昭和女子大学）

報告 蓮見 雄（立正大学）“Russian Factors in the Northern Dimension: A Case of Kaliningrad”

討論者 服部倫卓（ロシア東欧貿易会）

14:00－16:00 第2分科会

司 会 堀江典生（富山大学）

報告 平手賢治（名古屋学院大学）「L. Balcerowicz の『制限された国家』論－Traditional Natural Law Theory の観点からの検討」

討論者 大田英明（愛媛大学）

報告 雲 和広（一橋大学）「ロシアにおける地域間人口移動－Origin-to-Destination 表の利用」

討論者 アンドレイ・ベロフ（福井県立大学）

報告 岩林 彪（松山大学）「現代社会主義経済論の地平」

討論者 長砂 實（関西大学）

14:00－16:40 第3分科会

司 会 大津定美（大阪産業大学）

報告 封 安全（北海道大学・院）「中ロ貿易統計の分析－両国統計の食い違いを中心に」

討論者 大津定美（大阪産業大学）

報告 浅川あや子（一橋大学・院）「中国における計画経済体制下での国有企業改革－経営請負責任制の再評価」

討者論 今井健一（アジア経済研究所）

報告 岩崎一郎（一橋大学）「企業形態と組織行動－ロシア株式会社制度の実証分析」

討論者 溝端佐登史（京都大学）

報告 秋葉まり子（弘前大学）「ポーランド上場企業の資金調達」

討論者 松澤祐介（桜美林大学）